

流行の つぼ

人暮らし。腰痛に悩まされ。会員の野呂八重子「当然。喜んでもらえて、
れており「いろいろと頼さん(笑)は「困った人私もうれしい」と話し
めるので、とても心強がいれば助け合うのはた。

高齢者の生きがいに

下野地区は約八千人が
ないという。
住み、六十五歳以上の割
依頼件数は最初の二カ
台を示す高齢化率は約25
月が計十件だったのが、
口コミで広がり、十一月
は七十二件に。高齢者か
らが大半を占め、買い物
の付き添いや戸袋にある
スズメの巢の撤去と内容

%。一線を過ぎ元気と時
はさまざまだ。

間を持って余している人を
谷口さんは「こんなに
巻き込み、地域の活性化
需要があるとは思わな
を因らうと高齢者十二人
った」と驚く。中には、
で設立し、今年四月から
将棋の相手など、寂し
活動を始めた。

現在の会員数は四十九
人で、平均年齢は六十八
歳。依頼者から三十分に
つき三百円を受け取り、
うち二百五十円が会員の
報酬、五十円が団体の運
とを願っている。

賞費に充てている。

当初は無償で作業する
いる荒れた竹やぶを整備
予定だったが「逆に相手
し、竹炭を作って販売す
に気を使わせてしまつよ
るなんです」と事務局長
考えた。問い合わせは、
の谷口欽徳さん(059-337-138)

頼者から料金の数倍のお
金を差し出され、会員が
困り果てる場面も少なく

高齢者の生きがいづ
くりを努める四日市市
下野地区の住民による
NPO法人「下野・活
き域ネット」が、家の
掃除など簡単な作業を
格安で請け負い、会員
の高齢者が作業を「な
す個性的な取り組みで
人気を集めている。

(佐野周平)

十九日朝、会員三人が
住宅団地にある山口道子
さん(68)方を訪れた。依
頼は、庭掃除と庭木の剪
定。寒風が吹く中、三人
は一時間半にわたって作
業に精を出した。

山口さんは夫(70)と二

四日市「下野・生き域ネット」



庭木の剪定作業に精を出す会員たち＝四日市市で